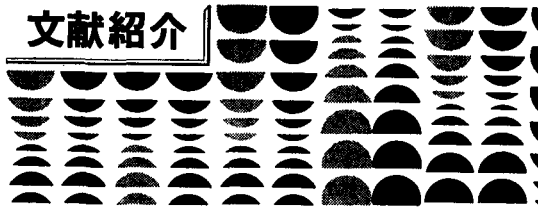


文献紹介



Management Science, 24, 2, 1977.

- 306 異質の消費者集団の個々の行動様式を考慮した銘柄選択と購入時点行動の合成モデル
F. S. Zufryden. 121-136.
- 307 研究開発プロジェクトの技術的成功の確率の評価に影響する管理者の組織的・状況的な差異
A. H. Rubenstein & H. Schröder. 137-148.
- 308 習熟の効果を表わすために非線形コスト関数を組み込んだコスト-生産量-利益(CVP)分析
E. V. McIntyre. 149-160.
- 309 需要と異なる非番政策の制約条件のもとで労働力を最小にする周期的なスケジューリング
K. R. Baker & M. J. Magazine. 161-167.
- 310 サービスを完了した客が更にもう一度行列に戻るという瞬間的なフィードバックをもつ待ち行列
G. R. D'Avignon & R. L. Disney. 168-180.
- 311 自己回帰モデルを使用したシミュレーションにより発生された応答の解析
D. A. Hsu & J. S. Hunter. 181-190.
- 312 効果的な情報システム開発プロジェクトユーザーと専門家間のコミュニケーション・パターン
B. Debrabander & A. Edström. 191-199.
- 313 連続した先行関係をもたない CPM-COST 問題に対する効率的な動的計画法モデル
A. O. Esogbue & B. R. Marks. 200-209.
- 314 確率ベクトルの積の平均と分散一係数および変数が多変量分布に従う線形モデルへの応用
G. G. Brown & H. C. Rutemiller. 210-216.
- 315 容量に制限をもつ開いた待ち行列ネットワークにおける最大スループット
P. J. Schweitzer. 217-223.
- 316 目的関数の重みが多変量正規分布に従う場合の一直線上の工場立地問題
G. O. Wesolowsky. 224-229.
- 317 2 機械フローショップ問題の分枝限定法による最大ペナルティーの最小化
W. Townsend. 230-237.

(日下泰夫)

Management Science, 24, 3, 1977.

- 318 自動化された不動産評価に対するフィードバックモデル
R. Carbone & R. L. Longini. 241-248.
- 自動化された集団評価システムが、有効性、公正さ、大衆に受け入れられやすさの規準にあうためにそれがもつべき性質が示され、それらの性質をもつ新システムをフィードバック制御とパターン認識の概念を使って構成し、実例でその有効性を示す。
- 319 不確実性の下でのプロジェクトの計画と動的制御
J. M. Burt. 249-258.
- 実際の活動時間が知られるにつれて、プロジェクトの進行中における資源の動的再配分が考察され、ある活動への資源の配分の効果として、その活動の所要時間の分布が変化するものとし、DPと分布解析で、最適動的決定規準を導いている。
- 320 市場分割のための分類法：原点の任意性の問題の解決のための改良型線形モデル
W. R. Darden & W. D. Perreault, Jr. 259-271.
- LTA (Linear Typal Analysis) の改良を行ない、実際の市場データの分析を行なっている。
- 321 学究的な学際研究プロジェクトにおける代替的経営形式の評価
P. H. Birnbaum. 272-284.
- 学究的機関における学際研究プロジェクトを、規模、構成員の定住性、階層的レベルの数、活動の区分、博士号・修士号・学士号をもつ専門職員の構成比に対するクラスター分析を使って分類し、それぞれの型の評価を行なっている。
- 322 多重機能をもつ投資決定：R & D プロジェクトの選択の研究
S. L. Schwartz & I. Vertinsky. 285-301.
- 60個の仮想的プロジェクトに対するアンケートの判断にもとづいて、R & D の投資決定に対するいくつかの、個人・集団モデルを回帰・判別分析を使って推定し、危険と収益率の間のトレード・オフの差が経営者の性格と彼らの環境に関係していることを示す。
- 323 区分的凹型費用、制限付生産能力、非減少的需要の下での生産の平滑化
M. G. Korgaonker. 302-311.
- 324 混合整数計画法に対する修正されたベンダーズの分割アルゴリズム
D. McDaniel & M. Devine. 312-319.
- 325 決定分析における独立性とキャリブレーション
J. M. Harrison. 320-328.

未来に対する主観確率的評価が観測された頻度と一致するかどうか確かでないと思う人をミス・キャリブレーションされているといい、そのような人は、いかなる2つの事象も確率的に独立とは認知しないことを示す。

326 干渉分析による市場擾乱の影響の評価

D. W. Wichern & R. H. Jones. 328-337.

Crest に対するアメリカ歯科医師協会の保障の Procter & Gambel 社の宣伝促進が、1958—1963 年間の Crest と Colgate の練り歯みがきの市場シェアに与えた影響を干渉分析を使って行なっている。

327 割込みをもつ待ち行列システムに対する近似解法

M. J. Fischer. 338-344.

通常、それぞれの割込みの型に対して、別々の待ち行列分析が必要だが、ここでは、多くのそのようなシステムの分析に使える単一の待ち行列モデルを提案する。

328 一般化された割当て問題としての設備配置問題のモデル化

G. T. Ross & R. M. Soland. 345-357.

(城川俊一)

INFOR, 16, 2, 1978

329 週7日操業における土日の代替を考えた人力配置

R. N. Burns. 101-111.

330 PDP-11 のエミュレータの製作

T. A. Marsland & J. C. Demco. 112-131.

PDP-11 の完全かつ高速なエミュレータを、ホスト QM-1 の上に実現する。

331 グラフで1辺の長さを変えた時の最短路再計算法

R. Dionne. 132-146.

Murchland は有向グラフですべての最短路が分っている時、1辺の長さを変えたグラフで最短路を計算する方法を示した。著者は無向グラフの場合とアルゴリズムの効率化を考える。

332 LP 技法を用いたある待ち行列系の最適性

T. C. T. Kotiah. 147-157.

トラフィック密度が同一の $M/M/n$ と $M/D/n$ ($n \geq 2$) について $M/M/n$ の零遅延サービスの確率が後者より大きくなる確率を LP で解く方法を提案する。 $n=2$ については待ちの平均サイズについても述べる。

333 優先権のある $M/G/1$ 待ち行列

P. Hosktaol. 158-170.

顧客は優先順位別に2つのクラスに分れる。窓口に来た優先度の高い顧客は、優先度の低い顧客がサービス中で、サービス残り時間が定数を越える場合、サービスを中断させられることが前提となっている。

334 あるプラント設計問題の整数解を得るヒューリスティックな方法

D. P. Lingaraj. 171-182.

タイヤプラント設計問題をLPの形に定式化し、この非整数解にヒューリスティックな方法を適用して整数解を導く。

335 在庫の劣化を考慮したダイナミックなロットサイズ決定モデル

Y. Friedman & Y. Hoch. 183-188.

336 銀行(の資金運用)問題へのFrank-Wolfe法の応用

L. P. Mavrides. 189-195.

(坂内広蔵, 寺野隆雄, 茂原一洋)

The Journal of the Operational Research Society

29, 2, 1978

337 目標追求システムの制御

G. W. Tyler. 97-104.

338 頑健性解析の教育への適用

J. Rosenhead. 105-112.

339 複雑な意思決定に対する構造画像アプローチ

D. Clarke & B. H. P. Rivett. 113-128.

340 ある単純な確定的流行病モデルの最適制御

S. D. Sethi & P. W. Staats. 129-136.

341 戦略的意思決定に対するオペレーショナル・リサーチ: 世界観の役割

A. Berresford & M. R. Dando. 137-146.

342 Wishartモード解析を用いた国際市場機会の定義

D. Doyle & Z. B. Gidengil. 147-158.

343 最悪事態の分布への離散的決定の頑健性

S. Schenkerman. 159-166.

344 発展途上国におけるORの適用の可能性—ボツアナでの結果から

S. J. McCarty. 167-170.

345 Warszawski の複数財の立地問題について

B. M. Khumawala & A. W. Neebe. 171-172.

(木嶋恭一)

..... 次号予告

特集 官庁統計

官庁統計における行管庁の役割	田代 文俊
官庁統計の組織・制度	齊藤金一郎
現行官庁統計	水野 坦
官庁統計における情報管理	船崎 武男
地方公共団体における統計	口 由雄

総合報告

マンパワープランニング 松田武彦・宇井徹雄